

# 香川県三豊市立比地大小学校

(様式4-2:平成30年度 モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)にかかわる学校支援制度

実施結果報告書)

## 実施結果報告書

1. 学習名称：チャレンジ！ ふるさと交通エコプラン2					
2. テーマ：チャレンジ！ ふるさと交通エコプラン2					
3. 実施教科：総合的な学習の時間・社会科					
4. 関連単元：3年：総合「見つけよう 比地大のじまん」 4年：総合「みがけ 比地大の宝」 5年：社会「わたしたちの生活と工業生産」「環境を守るわたしたち」 総合「比地大のすばらしさをリサーチしよう」 6年：総合「安全・安心住みよい町・比地大」					
5. 実施単元数：3～6年：5単元					
6. 学年	3～6年	7. クラス数	4クラス	8. 生徒数	57名
9. 実施内容 <p>本校では、三豊観音寺地区小学校教育研究会生活科・総合的な学習部会から研究指定をうけ、研究主題「体験を通して主体的に活動する子どもの育成」サブテーマ「― 地域学習を核に探究的な学習を ―」のもと、研究実践に取り組んできた。そして学年ごとにテーマを決め、生活科や総合的な学習の時間を中心に学習を進めてきた。その中に昨年度から取り組んでいるモビリティ・マネジメント教育チャレンジ・「リサーチ！かがやけ！ふるさと比地大2」も取り入れたいと考えた。</p> <p>3年生は、テーマ「見つけよう ふるさと比地大のじまん」として、地域の自然や人について調べ、地域の良さを再発見するとともに、発見したことを自慢として地域に発信する学習に取り組んだ。児童は、多くの人材や農作物等から自慢を見つけることができた。その中でも、本校は JR 予讃線比地大駅がすぐ近くにあり、毎日踏切を渡って通学する児童も多く、児童の生活と JR とは密接している。そこで交通の要としての駅も、本校区の自慢の一つとして調べ活動を行った。そして公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団の支援のもと、JR 四国多度津工場の協力も得て、環境に優しい乗り物「電車」の良さにふれたり、ふるさとのパノラマ立体模型にミニチュア電車を走らせたり、段ボール列車を製作したりして、電車に親しみ、環境を考えた交通手段の大切さを実感させたいと考えた。それらの体験と総合的な学習の時間・社会科をカリキュラム・マネジメントすることにより、交通環境を考えて主体的に行動できる児童の育成を図った。</p>					

## 10. 学習のながれ

### (1) JR 四国多度津工場との打ち合わせ (7月)

- ・ 趣旨の確認と内容の検討 (学習計画の立案)
- ・ 実施日時の調整

### (2) JR 四国多度津工場見学 3, 4年生 (9月14日)

JR 予讃線

往路 8:28 比地大駅発 8:50 多度津駅着 9:05 工場着  
普通電車 (4120M)

復路 10:25 工場発 10:41 多度津駅発 11:03 比地大駅着  
快速サンポート南風リレー号 (117M)



### (3) JR 四国多度津工場出前授業 3年生 (1月23日)

- ① 比地大小学校の前を走る電車の紹介
- ② 四国を走る電車機関車両・ディーゼル車両の紹介
- ③ 新幹線について
- ④ SLの紹介と蒸気機関の説明
- ⑤ 未来の鉄道車両
- ⑥ 工場で働く人々と仕事
- ⑦ 段ボール列車とパノラマ



### (4) 各学年における総合的な学習・社会科学習の実践

3年：総合「見つけよう ふるさと比地大のじまん」(5月～2月)

4年：総合「みがけ 比地大の宝」(4月～11月)

5年：社会「わたしたちの生活と工業生産」「環境を守るわたしたち」  
(9月～3月)

総合「比地大のすばらしさをリサーチしよう」(5月～3月)

6年：総合「安全・安心住みよい町・比地大」(5月～2月)



# 《列車てなあに！》

1. 比地大小学校の前を走る列車を紹介します。



2. 四国を走るディーゼル車両を紹介します。



3. 四国を走る機関車両を紹介します。



4. 新幹線を紹介、新幹線が走ってる場所、日本地図が必要。また、そこを走る新幹線の写真



5. SLを紹介。これは今までの資料を利用。



6. 未来型車両の紹介。近畿車輛が製作しているドーハの車両の紹介。走る場所、設計のコンセプト完成までの車両デザインの変遷、完成写真、完成写真。



7. 働く人。多度津工場を紹介。



8. みんなの街に列車を走らそう。ダンボール列車の組立て。今回は組立て、解体まで。

